

ガリウム(腫瘍・炎症)シンチグラフィ検査を受けられる方へ

ガリウム(腫瘍・炎症)シンチグラフィとは

ガリウム(腫瘍・炎症)シンチグラフィは、悪性腫瘍や炎症性病変の診断、原因不明の熱源検索などを目的として行われます。放射性物質を含んだ薬(放射性医薬品)を注射します。薬が腫瘍や炎症に多く集まる性質を利用し、薬から出てくる放射線を画像化して、腫瘍や炎症の位置や活動性の診断を行っています。

ガリウムシンチグラフィの方法

- ・ 指定された日時(注射日時)に核医学検査室までお越しいただき放射性医薬品を静脈から注射します。
(採血と同様な方法で、血管に針を刺し、薬を注入します。針を刺す痛み以外に痛みはありません。)
- ・ 再度指定された日時(検査日時)に核医学検査室までお越しいただきます。
- ・ 検査目的・部位によって、検査前日に食事制限や排便促進剤の投与を行うことがあります。
- ・ 検査直前に、正確な検査を行うために排便をしていただきます。
- ・ 検査は、検査台に仰向けに寝ていただき撮影を行います。



検査の様子

ガリウムシンチグラフィ検査にかかる時間

検査の内容にもよりますが、通常検査では検査室内にいる時間が45分程度です。そのうち動いてはいけない撮影時間が40分程度になります。検査の時間は延びることもありますので担当の診療放射線技師におたずねください。

禁忌事項:

- ✓ 妊娠中または、その可能性のある方は検査を行わない場合があります。お申し出てください。
- ✓ 授乳中の方は、検査を行わない場合があります。お申し出ください。
- ✓ 閉所恐怖症の方は、検査前にお申し出ください。対応いたします。

検査中注意点

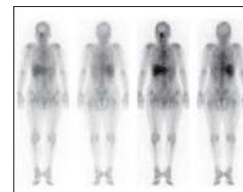
- ・ 注射(放射性医薬品投与)前の注意点は特にありません。
- ・ 検査目的・部位によって、検査前日より、食事制限(検査食の摂取)がありますので確認をしてください。
- ・ 検査目的・部位によって、検査前日より、排便促進剤の投与がありますので確認をしてください。
- ・ オムツを使用している場合は検査直前に交換してください。

検査中注意点

- ・ この検査は長い時間をかけて撮影しています。検査中は動かないでください。
- ・ 検査の種類や目的によって、手を挙げていただくことや、横向きに寝るなど体位が変わることがあります。

検査後注意点

- ・ 検査終了後は、特に注意していただくことはありません。いつもどおりの生活を送ってください。ただし、引き続き他の検査がある場合がありますので、飲食、排尿に関しては診療放射線技師にご確認ください。



ガリウムシンチ画像

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。